

カトラリーを備えた缶詰

ローリングストック※として日常的に使えて日持ちもする缶詰。防災時の備えとして考えている人も多いと思います。しかし実際に被災して缶詰を食べる際、多くの人がカトラリーまで準備していないことに気付くのではないのでしょうか。手も洗えないような状況で、感染症にも配慮しながら食べづらい食事を摂らなければならない、気分はどんどん落ち込み、せっかくの食事を美味しく食べる事も難しくなります。

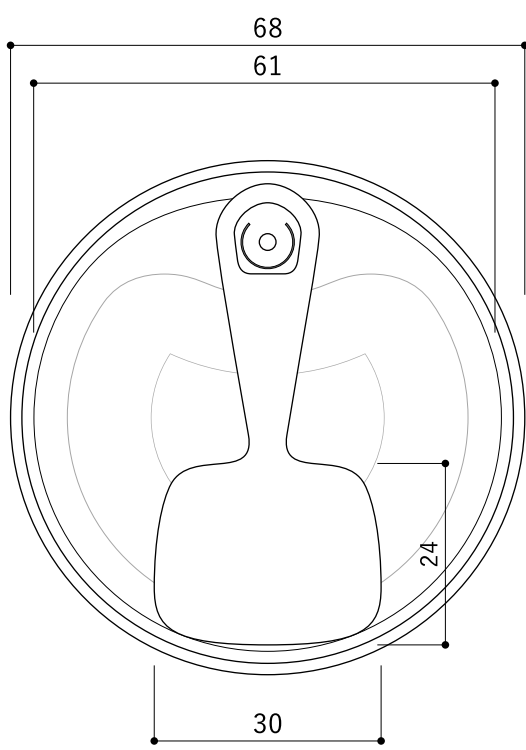
「カトラリーを備えた缶詰」はプルタブがカトラリーになっているので、蓋を開けたらプルタブと同じ要領で取り外すことで、被災時でも常にきれいなカトラリーで美味しい食事を楽しむことができます。

※ローリングストックとは

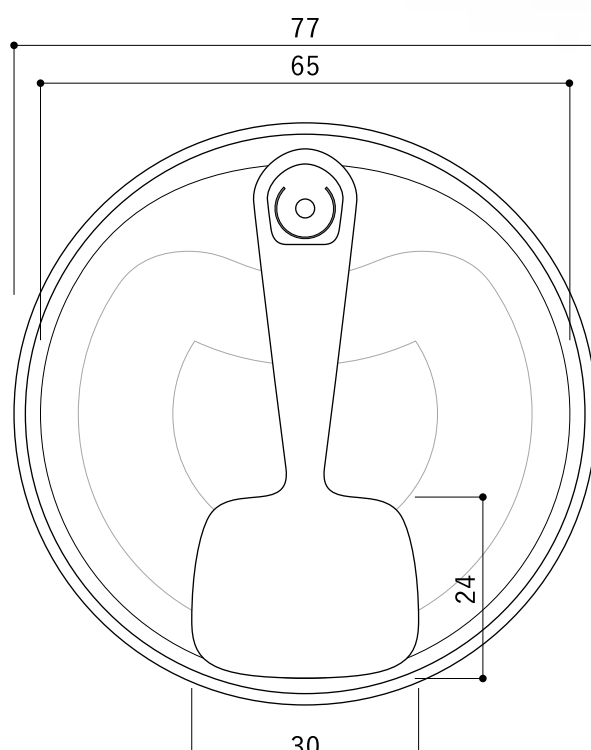
普段からよく使う食品や日用品を少し多めに買い置きし、使った分だけ新しく買い足すことで、常に一定量の備蓄を家に保つ方法。

日本の缶のリサイクル率は 94.7%

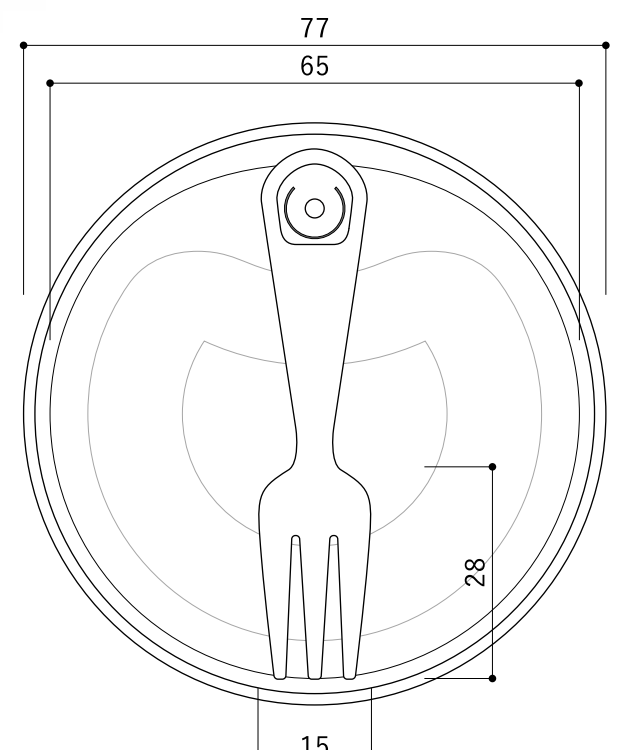
普通のプルタブより素材を使う形状ですが、日本の缶のリサイクル率は非常に高く世界でもトップクラスです。主な種類別では、アルミ缶が 94.7%、スチール缶が 94.4% となっています。集められた缶は資源として何度も新しく生まれ変わります。



7号缶 (h101 mm) ・ 特殊7号 (h75 mm) ・ 8号缶 (h53 mm)
(内径 65 mm) のスプーン 1:1



4号缶 (h113 mm) ・ 5号缶 (h81 mm) ・ 6号缶 (h59 mm)
(内径 74 mm) のスプーン 1:1



4号缶 (h113 mm) ・ 5号缶 (h81 mm) ・ 6号缶 (h59 mm)
(内径 74 mm) のフォーク 1:1